

# 乳がん地域連携パス患者の 健康管理への影響要因

～患者アンケート結果を踏まえて～

松江赤十字病院  
がん地域連携パスコーディネーター看護師  
南波 真理



## 【はじめに】

- ・乳がん地域連携パスの連携患者は病期0～Ⅱ期の早期乳がんで、術後ホルモン療法をしているケースが多い。
- ・ホルモン療法は、エストロゲンの分泌抑制からコレステロールの増加などにより**高脂血症などのリスク**が高くなる。
- ・乳がんのガイドラインでは、**バランスの取れた食事、適度な運動、適切な体重管理**は再発予防に有効とされている。



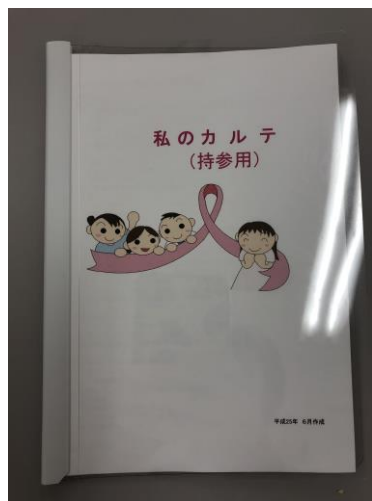
# 【コーディネーター看護師の役割(導入時)】

連携患者には患者主体で、『私のカルテ』を活用しての**健康管理への意識づけ**を呼びかけている。

患者の達成目標として

1. 定期受診・検査をする。
2. 『私のカルテ』を活用し体調に注意する
3. 生活習慣病にも注意する。

の3つを挙げている。



更に具体的な体重・血圧・採血データの**目標値**を連携医の先生方と決めて頂くよう伝えている。



# 【コーディネーター看護師の役割(連携中)】

## ・セルフケア能力の確認

- ・連携医療機関の受診状況
- ・内服管理状況
- ・自己管理行動の程度
- ・乳房自己検診の有無
- ・『私のカルテ』の記入状況

## ・生活背景の把握

- ・家族構成や家族の中の役割
- ・勤務状況
- ・家族のサポート体制
- ・キーパーソン
- ・介護サービス利用状況



# 【アンケート調査の目的】

健康管理への意識が低い患者も多く、そのような患者には健康管理へ目が向くよう継続的な支援をしているが行動変容には繋がらない。

そこで、アンケート調査を通して、**患者の健康管理への影響要因**を明らかにした。



## 【方法】

術後3年以上経過した連携患者に無記名のアンケート用紙を郵送し、**健康管理状況と属性・連携医の診察内容と満足度・ソーシャルサポートとの関連**を分析した。

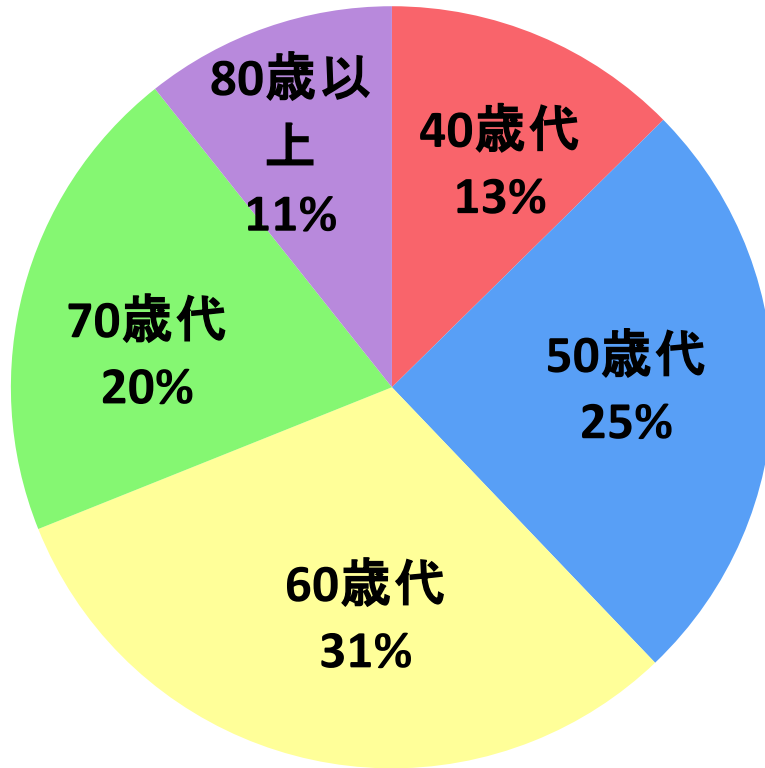
## 【結果】

郵送数175人 回収数126人  
有効回答率 72%

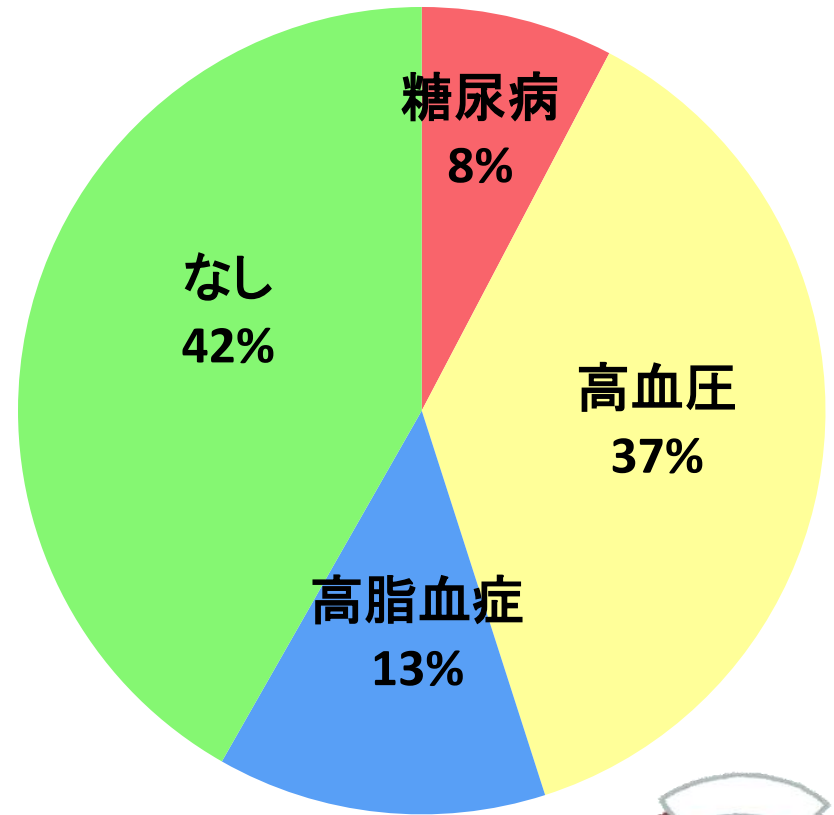


# 【属性】

## 年代

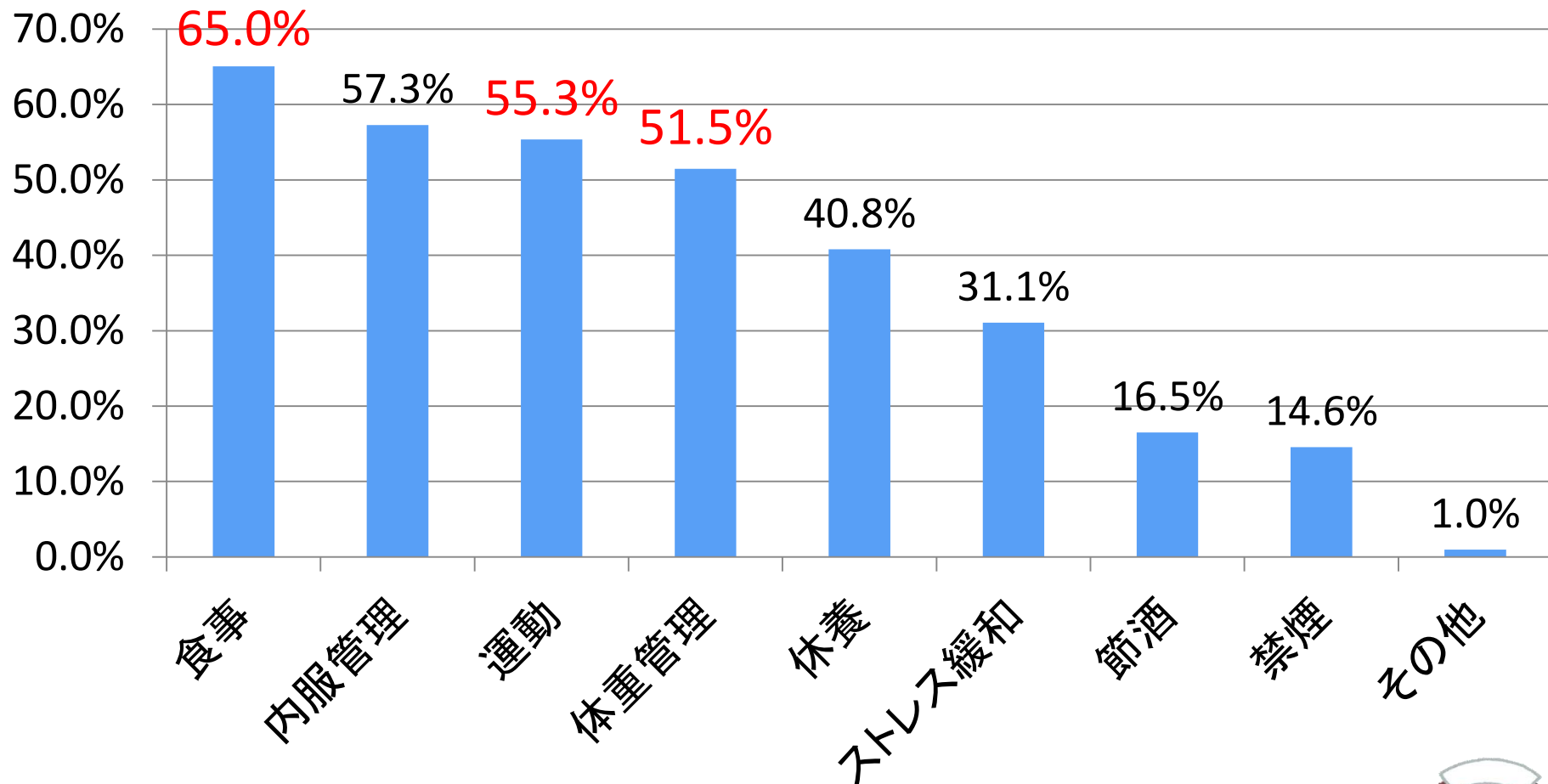


## 既往歴



\* 勤務状況のあるなしはほぼ半数で同等だった。

# 【患者自身が取り組んでいる健康管理内容】

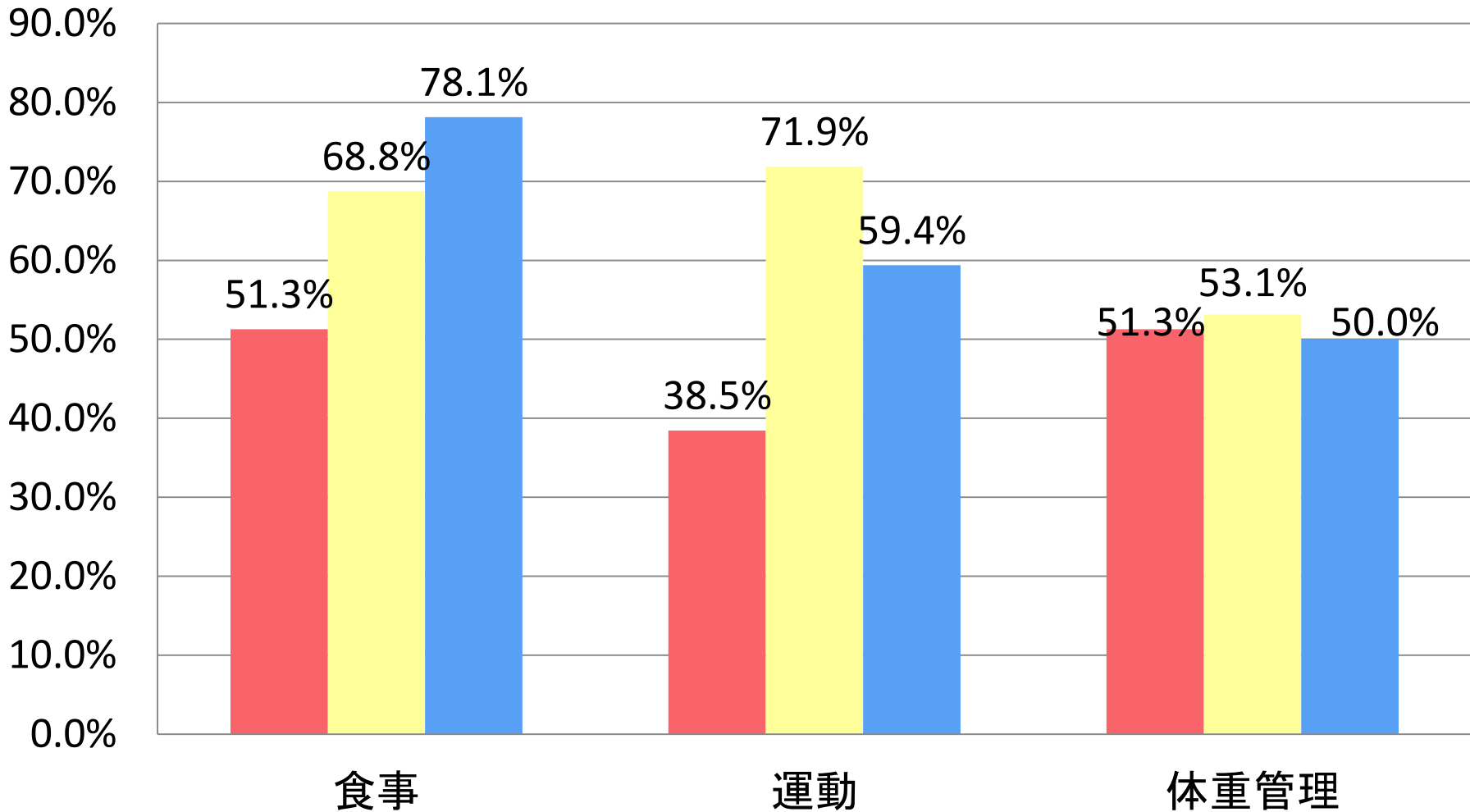


\* 厚生労働省発行の「健康白書」とほぼ同等の結果





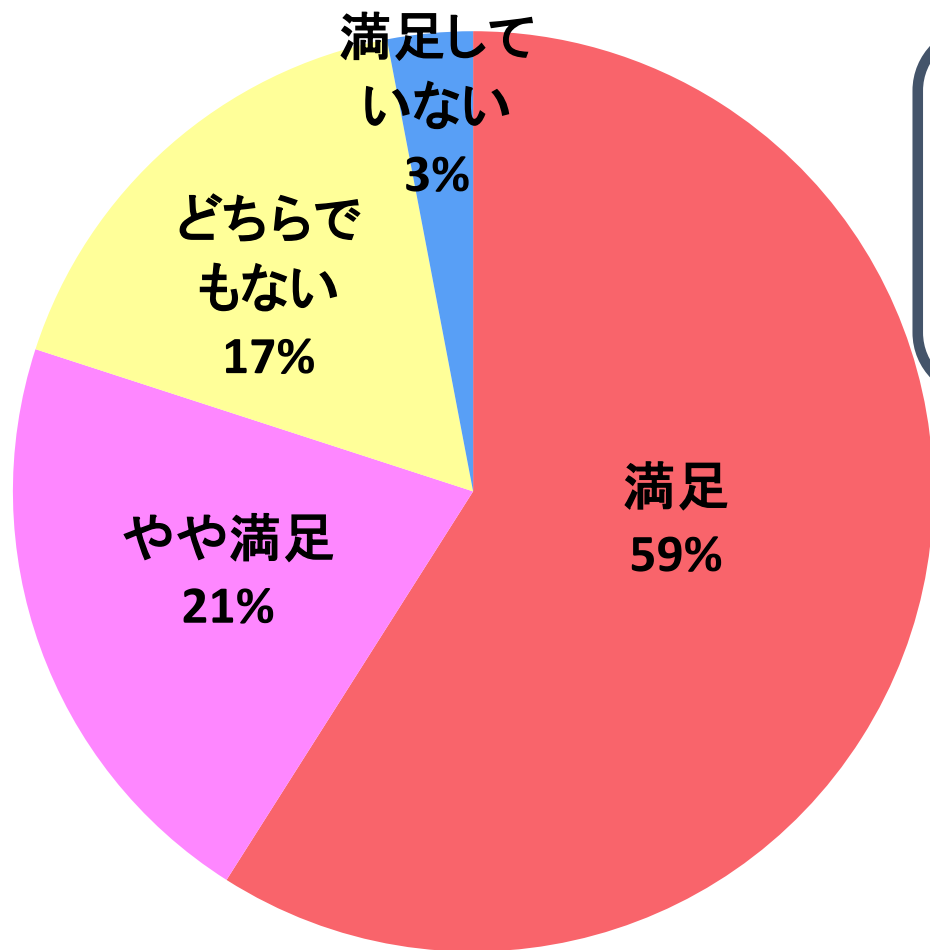
# 【年代別の健康管理内容】



■ 40.50歳代 ■ 60歳代 ■ 70.80歳代



# 【連携医療機関での満足度】



連携患者の**80%が満足・やや満足**と回答



# 【患者さまの声...】

定期的にかかりつけ医でも見て頂いていたので、仮に再発したとしても早期発見になると安心して通いました。



内科的なことはかかりつけ医の先生によって今日まで来ました。色々アドバイス頂き心身のよりどころです。

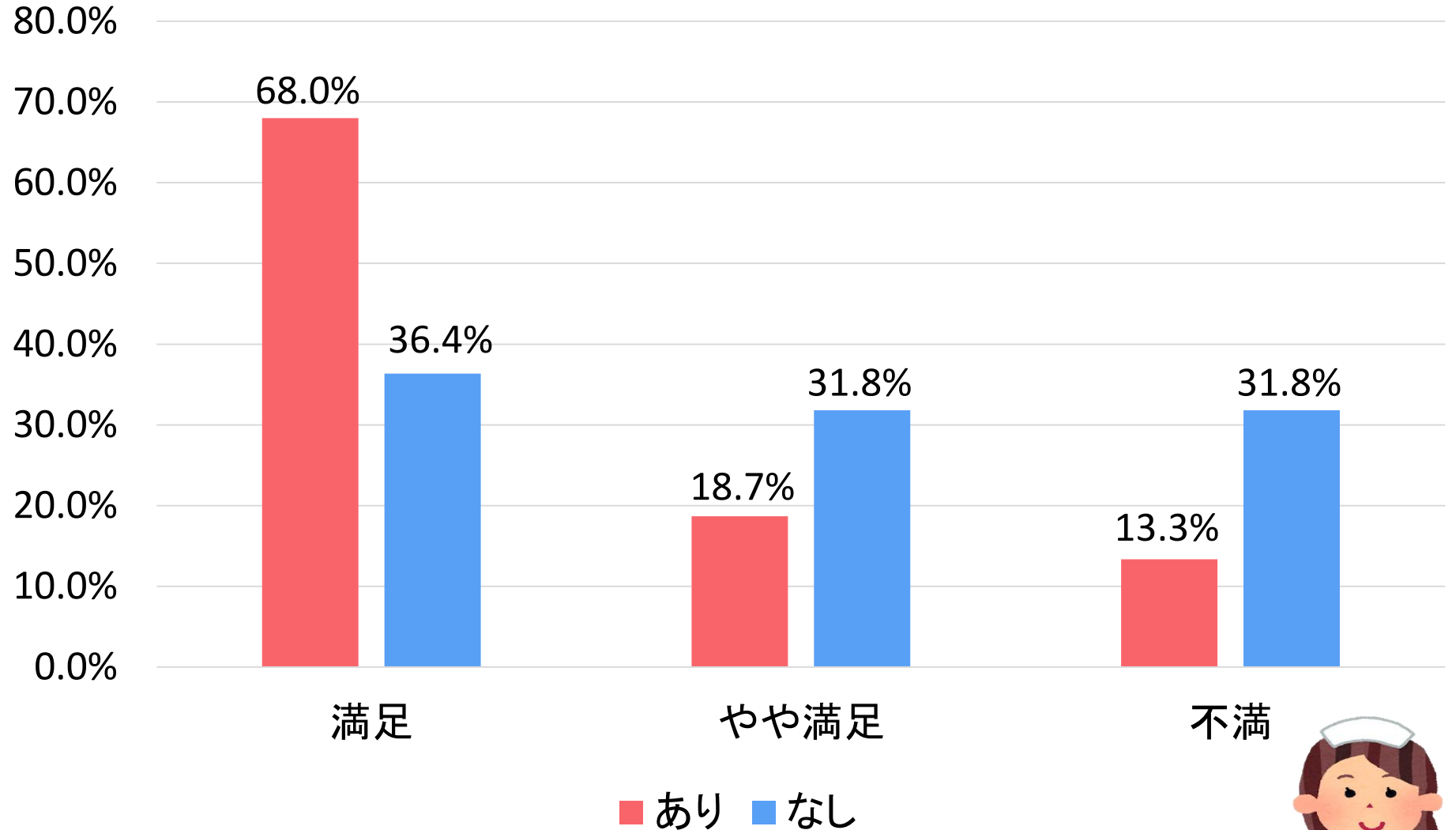


私のかかりつけの先生はストレスの話をしてウウンと大変よく聞いてくれ安心します。

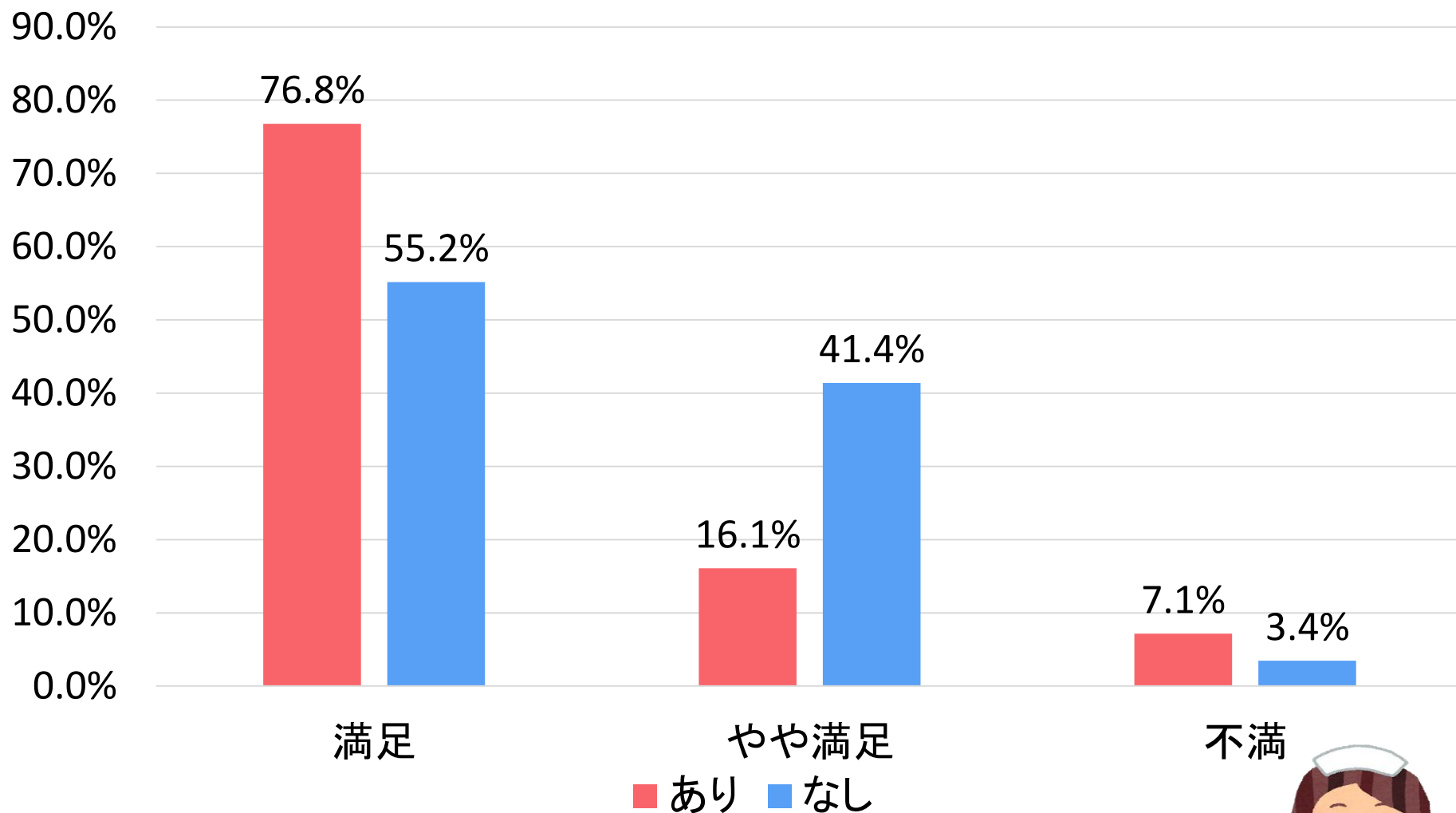


私のカルテも診て頂いています。少しの心配事も話を聞いて頂くだけで気持ちが軽くなります。

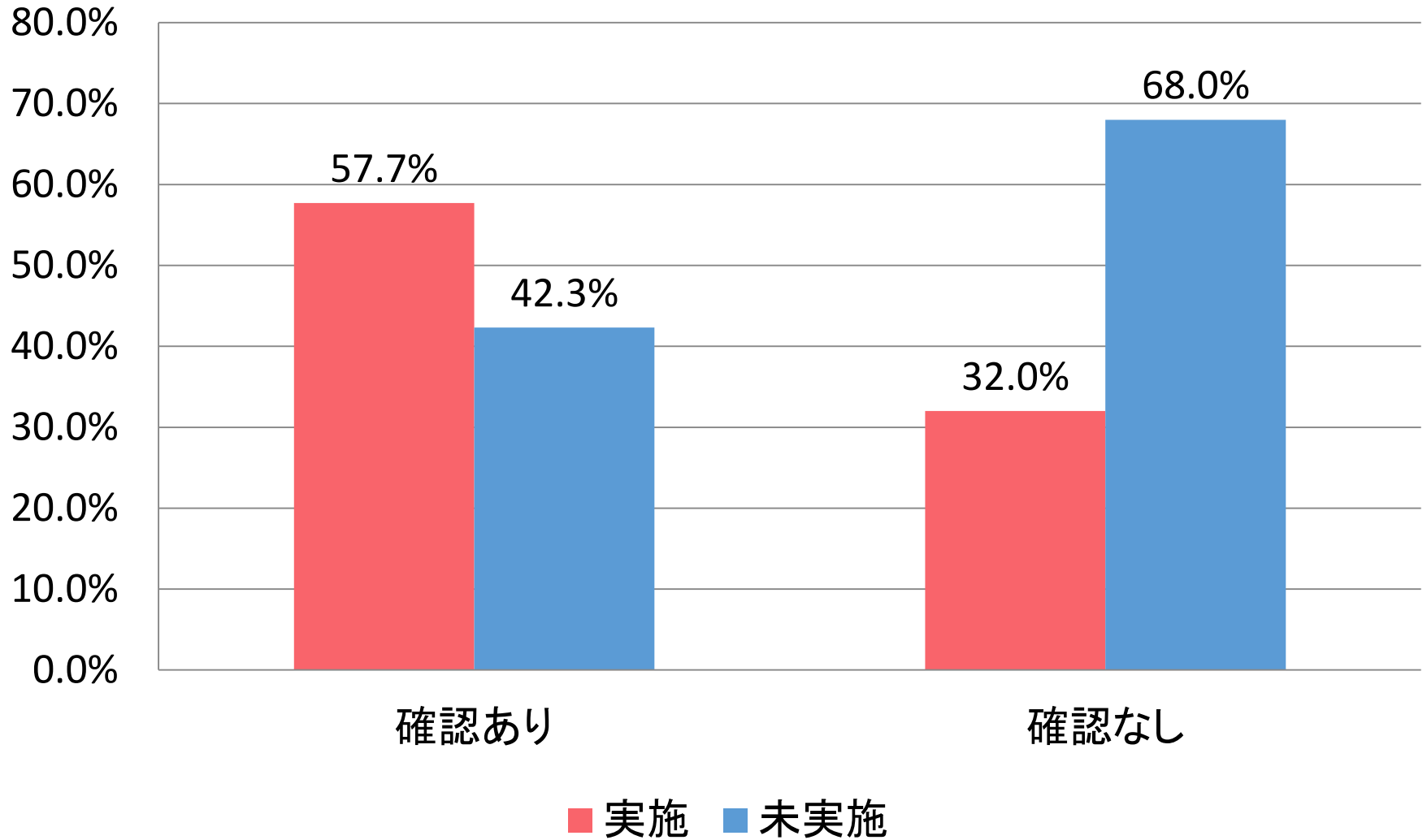
# 【『私のカルテ』確認と満足度】



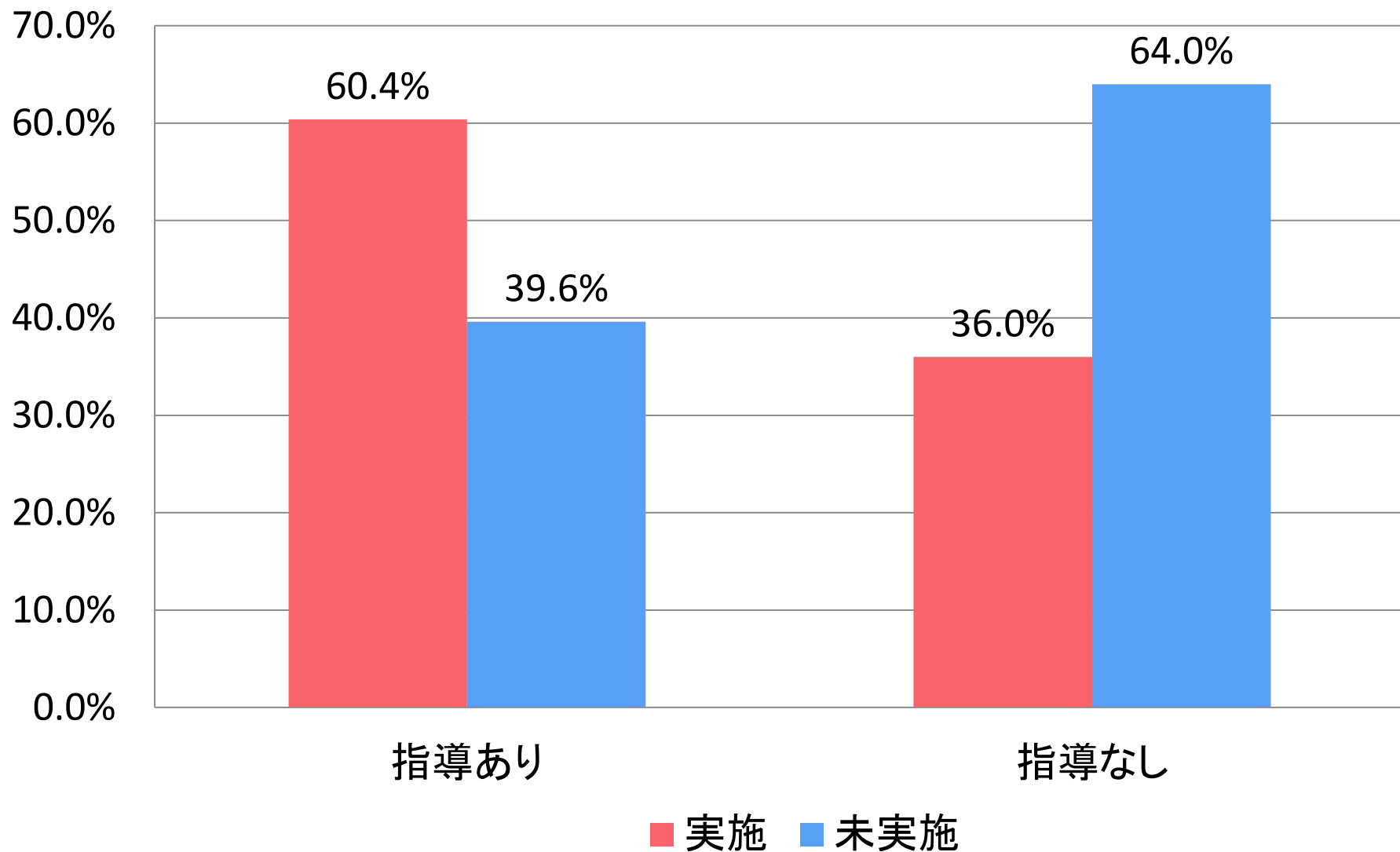
# 【乳房視触診と満足度】



# 【『私のカルテ』の確認と体重管理】



# 【生活指導と体重管理】



# 【アンケート結果を通して】

1. 乳がんの再発予防には生活習慣病予防・管理が有効であると患者へ伝えていたが、実際には**意識づけに繋がっていない**かった。
2. **特に40. 50歳代**は健康管理行動へ繋がらなかった。
3. 患者の健康管理への意識付けへは、**医療者の存在が大きく影響**している。





# 【コーディネーター看護師の今後の課題】

1. 健康管理行動への結びつきが低かった**40. 50歳代の患者への意識づけの支援**
2. 乳がんの再発予防と生活習慣病予防・管理への繋がりを意識づける**パンフレットの作成**
3. 連携医療機関の**看護師との情報共有**
4. 連携医療機関へアンケート結果の報告

今後ともどうぞよろしく願いたします。  
ご清聴ありがとうございました。

